

日時：2008（平成20）年10月25日（土）午前11時から午後0時30分まで

場所：福岡大学文系センター 15階 第七会議室

出席者：23名（評議員19名＋支部長 [評議員内数] ＋九州地区代表委員＋監査＋事務局員2名）

議長：山内（支部長）

記録：毛利（事務局）

1. 活動報告

過去1年間の主な活動として、第60回支部大会開催（於：熊本大学）および学会誌発行準備に関する報告が、支部長よりあった。会員数の動向に関しては、昨年より微増であるものの（2008年10月現在、521名）、会費納入者に至っては182名で、全体の34.7パーセントであることが述べられた。昨年同時期の会費納入者は242名であるが、その減少理由として、学会誌『九州英文学研究』第25号（支部統合号）の会員への送付が12月（例年は4月末）に先送りになったことが挙げられた。

2. 会計報告

事務局より2007（平成19）年度の会計報告がなされた。監査の山田英二先生による会計監査確認の報告がなされた後、満場一致で会計報告が承認された。また、大会準備金が例年より増大したことに関して、国立大学の独立法人化に伴って教室使用料が発生したことの説明が付け加えられた。

3. 次年度開催校について

第62回支部大会は宮崎大学で開催されることが承認され、開催校選出評議員の井崎浩先生より挨拶があった。

4. 次期事務局及び支部長について

本年10月末日をもって、福岡大学での事務局業務、及び山内支部長の任期が満了することに伴い、次期事務局及び次期支部長の決定が行われた。本年11月1日から次期事務局は北九州市立大学に移り、新支部長には同大学の木下善貞先生が就任することが、満場一致で承認された。

5. 日本英文学会（本部）の評議員、及び理事の選任について

一般財団法人となった日本英文学会が役員を選出方法を変更したことに伴い、九州支部より、本部評議員1名、本部理事1名をそれぞれ選出することになった。本部評議員（任期4年）には太田一昭先生が、本部理事（任期2年）には次期支部長の木下善貞先生が選出され、満場一致で承認された。

6. その他

上記5. の評議員もしくは理事が任期途中で停年（65歳）を迎えた場合の扱いについて質問が出た。基本的には、任期途中で停年を迎える者は選出しない、との支部長の見解が述べられ、それに対する異論は出なかった。なお、突発的理由により任期途中で委員が交代する場合、新委員の任期については本部規則に則ることとする。

以上